

自治連だより川越



- 発行一川越市自治会連合会
- 事務局一川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…シラコバト賞を受賞
「緑の募金」の報告と御礼
交通事故防止への注意喚起
- 3面…霞ヶ関支会の紹介
- 4面…各種犯罪への注意喚起
民生委員・児童委員の年齢制限の緩和に
関する要望書提出について
編集後記

川越市自治会連合会会長 本間 幸治



皆様、明けましておめでとうございます。日頃から、川越市自治会連合会に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの蔓延により、心苦しくも多くの事業が規模縮小・中止となりました。自治会連合会といたしましては各自治会に消毒用ウェットティッシュを配付するなど、感染拡大防止に努めてまいりました。

各自治会におかれましても、人と人との繋がりの希薄化が問題視されている中で、地域の皆様との繋がりを維持するため、独自の取組で新型コロナウイルス感染拡大防止にご尽力いただいているものと存じます。新型コロナウイルス発生から早くも約2年が過ぎようとしており「Withコロナ」時代になりつつあります。自治会連合会も多角的な観点から改めてコロナと向き合い、事業を展開していくよう努めてまいります。

さて、昨年SDGsが流行語大賞にノミネートされました。SDGsは「誰一人取り残されない」社会の実現を目指しています。自治会連合会といたしましても、「誰一人取り残されない」自治会活動を行い、お互いに助け合える地域を目指してより一層活動に力を入れてまいります。

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

川越市長

川合 善明



明けましておめでとうございます。

自治会の皆様方には、日頃から市政各般に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も長引く新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の自粛が求められ、多くの事業が縮小・中止となりました。地域住民同士の繋がりが薄くなる中でも、自治会連合会におかれましては相互扶助の取組を継続していただいております。深く敬意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、4月に「川越市成年後見センター」が川越市総合福祉センター（オアシス）内に開設、7月には新たな子育て支援施設として「すくすくかわごえ」が本川越駅から徒歩2分の好立地に開設されました。また、1年延期して開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック」では、川越市はゴルフ競技の開催会場としてPEACE ORIZURU事業の折り鶴が選手達をお出迎えし、バナーフラッグや川越産の花などにより大会ムードを盛り上げることができました。

今年はいよいよ市制施行100周年の記念すべき年です。記念事業等により市民の皆様とともに盛大にお祝いの一年間したいと思います。

結びに、川越市自治会連合会がますます充実、発展されますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



今年も自治会連合会の活動をよろしくお願いたします



Comfortable City Kawagoe 快適なまち川越

シラコバト賞を受賞

今年度のシラコバト賞（埼玉県知事賞）は、下記の個人3名及び3団体が受賞されました。おめでとうございます。

個人の部

- ・奥島栄三（武蔵野自治会）
- ・細川美奈子（川越市食生活改善推進員協議会）
- ・橋本俊英（霞町自治会）

団体の部

- ・チームひだまり（川鶴支会）
- ・住友あおい防犯パトロール隊（名細支会）
- ・東急こども会（霞ヶ関北支会）

順不同

「緑の募金」の報告と御礼

コロナ感染拡大下にもかかわらず、皆様のご厚意により、令和3年緑の募金は794万1,132円に達しました。ご協力ありがとうございました。

（公社）埼玉県緑化推進委員会からは、募金額の10%が自治会連合会へ、50%が川越市に交付されます。交付金は、公共施設の植栽や緑のカーテン事業等の緑化推進事業などに活用されます。自治会館等の緑化を希望する場合は、下記までお問い合わせください。

川越市環境政策課 みどりの担当 電話224-5866



藤岡東自治会館（緑のカーテン）



職業センター（公共施設緑化）

交通事故防止への注意喚起

本市における令和3年の交通事故の発生状況ですが、人身事故件数については微増傾向であり、死亡事故についても、11月末現在、5件発生しており、令和2年11月末の件数を超えています。交通事故に遭われる約半数以上の被害者は65歳以上の高齢者です。事故は歩行中及び自転車乗車中に発生しております。

現在、埼玉県及び埼玉県警察では横断歩道における歩行者優先の徹底の周知、啓発を推進しています。信号機のない横断歩道における埼玉県内での一時停止率は全国的にも低い状況ですが、子どもや高齢者が横断中に交通事故の被害に遭っている状況です。

このような中、歩行者においても横断歩道横断時に自動車や自転車に対し、手を挙げるなどの「ハンドサイン」で渡る意思があることを明確に示すことを推奨し、実際にハンドサインによって自動車の停止率が上がっているという結果も出ております。

ご家族、地域などで、横断歩道を横断する時には「ハンドサイン」を励行し、交通事故のない安全安心なまちにしていきましょう。

不審な電話などがあった場合は振り込め詐欺を疑い、速やか

霞ヶ関支会の紹介

【霞ヶ関支会はこんな街】

霞ヶ関支会は、川越市の西部にあたり、狭山市・鶴ヶ島市・日高市に隣接した自然豊かな地域です。霞ヶ関カンツリー倶楽部や安比奈親水公園があり、近くには智光山公園や温泉施設等があります。また、関越自動車道や圏央道があり、交通面の利便性に恵まれています。

【霞ヶ関支会の最近の話題】

1. 東京2020+1オリンピックのゴルフ競技が、霞ヶ関カンツリー倶楽部で令和3年7月29日(木)から8月7日(土)まで男子・女子が開催され、世界各国のトッププレイヤーの活躍が連日放映されました。日本代表の松山英樹選手が男子4位タイ・稲見萌寧選手が女子2位と活躍しました。
2. 笠幡駅前に利便性の良いロータリーができてバス運行も変更になり、住民の生活環境も変化しました。また、駅周辺では歩道が広がり、歩行者も歩きやすくなりました。
3. 埼玉県立川越西高等学校前に霞ヶ関西公民館ができたことで、霞ヶ関公民館と新設された霞ヶ関西公民館で特色を生かした活用ができるように運営しています。霞ヶ関地区は住民クラブ活動が盛んな地域です。



霞ヶ関カンツリー倶楽部



霞ヶ関西公民館

【霞ヶ関支会が目指す街】



芸能祭

釈迦に説法ですが、自治会とは自分たちのまちは自分たちで守る自治組織のことです。「隣りは何をやるぞ」、「向こう三軒両隣」という言葉がありますが、昨今、人間関係が疎遠になりがちです。こんな時代だからこそ、日ごろの自治会活動を通して御近所同士が顔見知りになっていれば、いざというとき（地震や水害などの自然災害のときとか、ひとり暮らしの方が家の中で倒れたとき

など）に助け合うことができるのではないのでしょうか。

霞ヶ関支会は、自治会活動の中でも特に体育・文化活動に力を入れ、グラウンドゴルフ大会、文化祭・芸能祭（歌・民謡・フラダンス等）が大人を中心に行われます。また、子どもを対象にした子どもまつり（餅つき大会、ダンス、アンサンブル、紙芝居等）も行っています。

このように長い伝統には地域の協力が必要です。霞ヶ関支会は、今後も明るく住みよい安全・安心の街を目指して活動してまいります。

各種犯罪への注意喚起

川越市内では、令和3年10月末現在、1,471件（暫定値）の刑法犯を認知しており、前年同期比で188件減となっています。しかしながら、市民の皆様の身近な犯罪では、オートバイ盗や部品ねらいといった犯罪が増えており、特にひったくりは倍増している状況にあります。ひったくりの被害に遭うと、財布やバッグ等の被害だけではなく、自転車ごと転倒して大怪我を負うこともあります。バッグ等は建物側に持つ、自転車のカゴにはひったくり防止カバーを付けるなど、ちょっとした工夫で防ぐことができますので、日頃から「自分も狙われている可能性がある」という意識を持ち、防犯対策を講じましょう。

また、オレオレ詐欺などの特殊詐欺は、令和3年10月末現在、川越市内では38件、被害金額5,514万円（暫定値）の被害が発生しています。多くの特殊詐欺は、電話で犯人と会話することから始まりますので、特殊詐欺を防ぐには、在宅中でも留守番電話に設定したり、迷惑電話防止機能付きの電話機を利用しましょう。

民生委員・児童委員の年齢制限の緩和に関する要望書提出について

自治会連合会は、令和元年に引き続き、民生委員・児童委員の選出が困難という自治会長の声を受け、令和3年9月22日（水）に市長に「民生委員・児童委員の年齢制限緩和に関する要望書」を提出いたしました。その後、11月11日（木）に開催した自治会連合会第1回理事会において、要望書の内容及び回答を役員の皆様へ報告しました。



左から自治連宮岡副会長、船津副会長、本間会長、川合市長、新井副会長

編集後記

令和3年の暮れ、恒例の町内餅つき大会を開催しました。餅つき大会の過去最高の人出は一年の努力のごほうびのように感じました。新型コロナウイルス感染防止対策を万全にし、実行委員全員が病院内のような身支度で臨みました。安全に楽しく、そして「自治会創立以来の伝統行事を絶やしたくない」という私たちの意気込みが参加した方々に乗り移ったかのように、すべての世代に笑顔があふれた冬晴れの日でした。

いろいろあった令和3年、地域で「ふれあい・安心・助け合い」の灯を絶やさぬように、自治会は身近で必要なことを地道に取り組みました。

令和4年は皆様にとって良い年になりますように。

(A. H)

